

海外安全官民協力会議 第二回幹事会開催結果（概要版）

1．日時及び場所 平成15年11月21日 三田共用会議所第二特別会議室

2．出席者 幹事会メンバー 20名（2名欠席）
外務省 領事移住政策課長、邦人保護課長 他6名

3．議事要旨

議題1 中東における最近のテロ情勢

(1) 外務省より最近の中東におけるテロ情勢について説明。

最近のテロ事件の特徴として、

テロの脅威が地域的拡がりを見せてきている傾向にあること、
攻撃対象がハードターゲットだけでなく、ソフトターゲットにも拡大していること、
攻撃方法・手段の高度化が見られるということ、が挙げられる。

外務省としては「渡航情報」の中で迅速な情報提供を行っているところ。

企業独自の立場からも、今次のテロの脅威に対して事務所の警備強化を始めとする具体的な対策を行うことが必要。また、大規模テロは車両爆弾によるものが圧倒的に多いが、今後、特に企業関係者は誘拐に対する注意も必要。

(2) 上記説明を踏まえ、出席メンバーと外務省との間で、テロ情勢についての今後の見通しや危険情報引き上げの可能性等について意見交換を実施した。

議題2 今冬のSARS 対策

(1) 外務省より、外務省の今冬のSARS対策について説明。

今冬の外務省のSARS対策は講演会やインターネットによる情報提供を中心に行う。

海外安全ホームページの中にSARS関連情報を1カ所に集めたページを新たに開設し、
今後、状況に応じて「SARS危険情報」等、外務省からの渡航情報も発出する可能性もある。

同時に各国の対策についても、最新情報を随時提供していく予定。

特に関心があると思われる健康カードの記載内容については、当方からの申し入れと最近の科学的知見も勘案され、カードの文言が「10日間念のため体温測定を実施」するという内容に変更された。

(2) 上記説明を踏まえ、出席メンバーより今冬のSARS流行に備えた企業の取り組みについての報告とともに、今後の対応についての課題等について意見交換を行った。

議題3 本会合（12月9日）の進め方

- (1) 12月9日開催の本会合の進め方について外務省より提案を行い、幹事会メンバーの合意を得た。
- (2) また、今後の海外安全推進のため官民が協力して取り組むこと、或いは議論を深めることが効果的と思われる政策課題として、幹事会で協議・検討を進めていくべきテーマについて意見交換を行った。

その結果、「一般国民への情報提供・広報・啓発のあり方」、「緊急事態における安否確認システムの構築」等を抽出し、これらを近く開催する本会合に提案し、了承を求めていくことで合意した。

以上